

第1部 [原著第1巻の前半]

目 次

はじめに..... 1

第1章 数と集合

§ 1. 集 合.....	4
§ 2. 写像, 集合の濃度.....	6
§ 3. 自然数列.....	7
§ 4. 有限集合と可付番集合.....	12
§ 5. 類 別.....	15

第2章 群

§ 6. 群の定義.....	17
§ 7. 部 分 群.....	26
§ 8. 群の部分集合の演算, 剰余類.....	30
§ 9. 同型, 自己同型.....	34
§ 10. 準同型, 正規部分群, 剰余群.....	38

第3章 環および体

§ 11. 環.....	44
§ 12. 準同型, 同型.....	52
§ 13. 商 体.....	53
§ 14. ベクトル空間と多元環.....	57
§ 15. 多項式環.....	62
§ 16. イデヤル, 剰余環.....	65
§ 17. 整除と素イデヤル.....	70
§ 18. ユークリッド環と単項イデヤル環.....	73
§ 19. 素因子分解.....	78

第4章 有理整函数

§ 20. 微 分.....	84
----------------	----

§ 21. 零 点.....	85
§ 22. 補 間 公 式.....	88
§ 23. 因 数 分 解.....	93
§ 24. 既約性の判定.....	97
§ 25. 有限回の手続きで因数に分解する方法.....	104
§ 26. 対 称 函 数.....	105
§ 27. 2つの多項式の終結式.....	112
§ 28. 根の対称式としての終結式.....	115
§ 29. 有理函数の部分分数分解.....	118

第5章 体 論

§ 30. 部 分 体, 素 体.....	121
§ 31. 附 加.....	124
§ 32. 单 純 拡 大.....	125
§ 33. 斜体上の1次従属性.....	132
§ 34. 斜体上の1次方程式.....	137
§ 35. 代 数 的 拡 大.....	140
§ 36. 1 の 累 乘 根.....	146
§ 37. 有限(可換)体.....	151
§ 38. 分離的拡大と非分離的拡大.....	156
§ 39. 完全体と不完全体.....	162
§ 40. 代数的拡大の単純性, 原始要素の定理.....	164
§ 41. ノルムとスプール.....	167
§ 42. 有限回の手続きで体を構成すること.....	176

